

# 友 愛

Y U A I  
106  
平成25年3月1日発行

特集 笑顔が集う交流の場

特集 着実な成長をサポートする  
人材育成へ

●ふれあい通信 ●スタッフエッセイ



社会福祉法人 北海道友愛福祉会

# 毎月1回オープン「ふれあい喫茶 ななかまど」 笑顔が集う交流の場

静苑ホーム1階に「ふれあい喫茶ななかまど」がオープンし、今年で3年目をむかえています。

北海道友愛福祉会の職員OB会が中心となり運営し、毎回多くのご利用者が開店を心待ちにしています。



毎回来ていただく

ご利用者さんの  
笑顔と元気を  
励みに!



小原 みどりさん

前回来て頂いたご利用者の中に、お身体の不自由な方がいらっしゃいました。「飲めますか?」とか「おいしいですか?」と、意識して声をかけるとニコッと笑ってくれました。そんな些細なことがすごく励みとなります。これからも、自分の健康にも気をつけながら続けていきたいですね。

誤飲に  
つながらないよう  
各々に合った  
飲食をおすすめ!



葉梨 淑子さん

お年寄りの気持ちに近い年代になったからこそできることがあるはずと思い、お手伝いしています。ちょっとおしゃれをして集まって、お話を楽しめる場になればいいと思っています。飲食を提供するので、誤飲には特に気を配るようにしています。今後はもっとたくさんのOB会の方に参加して頂ければと思っています。

ご利用者さんとの  
楽しい会話で  
声がかかることも



千野 美恵子さん

2年前から「ななかまど」のお手伝いをするようになりました。いまでは1~2週間前からわくわくして、前日は眠れないほどです(笑)。ここにくるとついしゃべりすぎて声がかかることもあるくらい楽しいです。これからは、来たいと思って介護が必要で来られない方もいるので、そんな方も一緒に楽しめる場にできればいいですね。

月に1回、ご利用者の方々に  
会えることが私たちにも楽しみ!



成田 キリ子さん

「ななかまど」はご利用者だけでなく、私たちも皆さんに会えることを毎回楽しみにしています。こちらから「おいしかったですか?」など声をかけると笑顔が返ってきます。その笑顔で私もうれしくなり、自然と私も笑顔になります。たとえ話さなくても、顔を合わせて、ただ居るだけで和む、そんな場所なんですよ。

これからもムリをしないで  
いまのままで長く続けたい!



武藤 弘子さん

私が勤務していた頃にいらっしゃったご利用者などおいて、思い出話で盛り上がったります。皆さん「ななかまど」をとっても楽しみにしているので、ムリせず長く続けていきたいですね。「ななかまど」のお手伝いはボランティアという大げさなものではなく、年をとっていき自分たちのためでもあり、楽しみでもあるんです。



## 元職員からなる 北海道友愛福祉会職員OB会



北海道友愛福祉会  
職員OB会  
会長 大塚 満直さん

北海道友愛福祉会職員OB会は平成21年8月に会員同士の親睦を図り、法人で提供するサービスの質の向上、各種事業の発展に寄与することを目的として設立され、現在会員は43名となっています。北海道友愛福祉会の夏祭りや家族会などの各種イベントのお手伝いのほか、シーツの交換などの軽作業のボランティアとして活動するなど、最近では若い職員の出産・育児休暇の取得に伴い、応援のお手伝いをさせて頂くことも増えてきました。「ご利用者の方から感謝されるのは、私たちの喜びであり誇りです。支えているようで私たちの方が支えられています」と、OB会会長の大塚満直さん。

## ご利用者と職員、OB会員が 楽しみながら交流できる場へ

現在「ふれあい喫茶ななかまど」は、OB会の5名の女性会員が中心となり運営しています。静苑ホーム1階の地域交流ホールで毎月1回、午後の2時間だけオープン。今年1月は21日(月曜)に開店、窓越しに雪景色を眺める暖かい店内はほぼ満席となりました。静苑ホームのご利用者だけでなく、デイサービス利用の方々、さらには現職員も加

わり皆さん笑顔でお話を楽しんでいる様子でした。もともとは3年前以前あった喫茶コーナーが使われていなかったため、OB会が中心となり、ご利用者の皆さんや現職員、OB会の会員がゆっくりと楽しみながら交流できる場を用意したいとはじまりました。いまでは常連の方々も増え、「今度は何日にやるの、次回も必ず来るからね」と声をかけられるなど、運営するOB会スタッフも確かな手ごたえを感じています。

## OB会員による季節感あふれる 手作りおやつが好評

ご利用者の皆さんが毎回楽しみにしているのが、このOB会スタッフが手作りするおやつ「本日のおすすめ」です。ちなみに1月は甘酒で、福引の一種の宝引きも行いました。毎回、季節感を取り入れたメニューを心がけ、3月のお雛さま、5月の節句、さらに夏のかき氷、時にはご利用者からのリクエストで例えば12月にはクリスマスケーキにしたりますなど様々です。また、ホットプレートで生地を焼き、あんをのせ、自分で作るミニどら焼きもあり好評でした。ドリンクもコーヒ―、紅茶などが充実し、毎回60名から70名が来店しいつもほぼ満席となります。「あまり忙しいと、ゆっくりお話しできなくなるのが残念!」という声も聞かれました。おやつ作りなどはボランティアで参加されていますが、「いつも楽しんでやっています。自分たちの方が元気をもらっています」と口をそろえて語ってくれました。

### 祭りだよ!施設祭だよ!

11月3日文化の日に、施設祭が行われました。  
看護職員によるダンスやマジックショーなど楽しい余興に、ご利用者は笑ったり驚いたり。また、作業療法士による手作りのゲームに挑む姿は真剣でした!  
食堂には、おでんに焼き鳥・そば・うどん等色々な種類の食事が用意され、たくさん食べる姿が見受けられました。  
今回もご家族の皆さまにたくさん来場していただき、楽しい一日を過ごすことができました。やっぱりお祭りっていいですね!



### 待ちました!雪遊び☆



今年も子どもたちの大好きな雪遊びの季節がやってきました。  
例年より早い積雪に、子どもたちは大喜びで雪山に登ったり雪の中に転がったりと、とても楽しそうです。  
これからも寒さに負けずに山すべりやスキーなど楽しんでいきたいと思います♪

### 対雁小学校3年生との交流会開催!



11月21日・28日・30日の3日間、通学区域にある対雁小学校3年生の皆さんとの交流会が開かれました。  
総合的学習の授業の一つで、あいさつから発表や交流の内容の企画、プログラムの進行まですべて生徒さんが行い、3クラスともとても和やかに楽しく交流ができました。  
ご利用者の皆さんの目は、まるで自分のひ孫さんを見るような眼差しで『しっかり!』『がんばって!』。また遊びに来てくれるのを楽しみにしています♪

### 旧友との再会が大切なひとときに。



帰る途中に、ショッピングもできて充実した外出の日となりました。

静苑ホームでは、ご利用者の皆さんの希望に合わせ、積極的に外出の援助をしています。今回の外出の援助は、静苑ホームに入所して約1年が経過したご利用者が以前に入所していた施設に行って、職員や旧友に会いたいというものでした。懐かしい面々との久しぶりの再会に話は尽きず、次の再会を約束し、束の間のふれあいを楽しんできました。

### 自慢の大作!!



浴室ののれん作りからスタートした「ヨーヨーキルト」作り。布の周りをすぼめてパーツを作り、大きい物で縦1.3m横1.7mの布に貼り合わせていきます。羽子板なら1カ月、北海道や富士山なら2~3カ月の作成期間を要します。サンタやこのぼり等季節ごとの作品もあるので、皆さん是非見に来てください(\*^^)v

### 恵明園にもサンタはやってくる♪



毎年恒例のクリスマス会が開かれました。ご利用者がテーブルを囲み、楽しげにお話しをしながら飲んだり食べたりしていました。その他にも、音楽の演奏に合わせてフロアで踊ったりと、暖かな時間を過ごしました。そして最後にサンタさんがやってきて、プレゼントをもらい、ご利用者の笑顔が眩しいクリスマス会となりました。

北海道友愛福祉会とご利用者の皆さんの日々のふれあいを、あふれる笑顔の写真と一緒にご紹介します。

# 着実な成長を サポートする人材育成へ

福祉の仕事は「人」にはじまり「人」に終わると言われ、人の占める役割が大きい業種とされています。福祉の分野で大切なのは「人材力」との信念から、北海道友愛福祉会ではいち早く人材育成のための制度を導入。ひとり一人の能力を高め福祉の専門家として成長できるよう支援を行っています。



## モチベーションを高める、「人事考課制度」

北海道友愛福祉会の人事考課制度は、人材育成マネージメントの一環として平成11年に導入されました。当時、施行された介護保険制度をきっかけに、社会福祉法人として他の民間業者との差別化を図り、地域に求められる新たなサービスの創造と恒久的な質の向上を目的としてスタートしています。福祉の仕事は職員ひとり一人の人材力が問われる分野であり、職員のスキルアップに向けた人材育成は不可欠。その為北海道友愛福祉会が導入した人事考課制度は、査定を目的とした一般企業のものとは違い、人材育成を主な目的とするプログラムとなっています。

人事考課制度は、全職員を対象とし年3回の面接を行います。まず、春の「目標面接」で上司の考課者とともに、「業務」と「自己啓発」の分野でそれぞれの目標を決めます。「業務」では仕事上での取り組みや新しい技術の習得などを、「自己啓発」では各種資格の取得や個々のスキルアップなどを目標として設定。秋の「中間面接」では、春に決めた2つの目標の進捗状況を、考課者とともに検討しながら適宜修正を加え、年度末の「育成面接」で、目標達成についての総合的な評価を行います。自分の育成方針について上司とじっくり話し合える場は貴重です。自分への評価が分かると同時に、上司からの確かなアドバイスがもらえモチベーションにもつながります。なによりも、考課を受ける職員の視点で、現在も制度の充実に努めています。

## 新人の不安を解消するための「フォローアップ研修」

人材育成のマネージメントで、最も大きなリスクは職員の離職。そのため北海道友愛福祉会では、新人の不安を解消するための「フォローアップ研修」を実施しています。

## スキルアップを支援する、「法人研修機構」

人材育成のさまざまなプログラムを実施するなかで、それを資格取得などスキルアップの面からサポートしているのが、平成14年に設立された法人研修機構です。おもに資格取得の奨励、症例研究への費用支援、職種別に専門研修を開催するなど、職員が専門職として自ら学ぶ環境を幅広く支援しています。例えば、北海道友愛福祉会の5事業所毎に行われる症例研究では、毎年2月

## 人事考課制度

### 考課する側も得るものが多くある制度。



友愛ナーシングホーム  
相談主任 佐藤 匠 さん

考課者として今年で4年目に入りますが、もっとも難しいと感じているのは、当会の人事考課制度の目的を正しく理解することです。それは考課される側だけでなく、考課する側にも言えると思います。私も正直、最初は点数をつけることに抵抗感がありました。しかし、考課する側として研修を受け、点数化することが目的ではなく、目標に向かう過程をサポートするための手段であることが理解できました。同じような誤解は、考課される側にもあって、最初はやらされている感があるようでしたが、キャリアアップなど自分のためになると理解すると、俄然、前向きに考課に取り組むようになりました。積極的にアドバイスを求めるようになり、技術を習得するスピードも目に見えて向上しました。また、面接の時間を定期的に設けることで、日頃の悩みや要望などを聞くこともできるので、部下とのコミュニケーションの面でもとても有効だと感じています。

道友愛福祉会の各事業所では、離職対策へ独自の取り組みを行っています。特に全国的に新規採用職員の早期離職が課題となっていたこともあり、静苑ホームでは、入職後1年目の新人職員を対象に3カ月毎に1年間、フォローアップ研修を実施しています。

この研修は同期の新人同士が集まり振り返り評価を記入しながら、さまざまな悩みや不安などを相談できる場を設けます。新人職員にとっては人間関係をふくめ戸惑うことも多く、さいなことも多い悩みがあります。そのような時、上司や年齢の近い先輩からアドバイスを受けることで、不安が解消され、モチベーションが向上し、仕事に集中できるようになります。

ひとり一人の意欲向上ややり甲斐の実感などの面でもサポートを行っています。



▲看護・介護職種別研修

## フォローアップ研修

### 同期が集まって語り合い 問題解決へ。



静苑ホーム  
介護士 斎藤 瑞絵 さん

静苑ホームの新人職員向けフォローアップ研修は、入職後3カ月、6ヶ月、1年の年3回行われます。研修内容は、主任を中心に同期の新人職員が集まって、日頃の悩みや出来事を話し合うというものです。新人の頃はちょっとしたことで悩んだり不安になったりしますが、気心の知れた同期と本音で語り合えるので、みんなの話を聞くことで不安が解消されたり、視野が広がったりしました。主任からもアドバイスを頂いたりするので、また目標に向かって頑張ろうと、モチベーションを高めることができました。そのときの主任に教えて頂いた「忙しい時こそ、やさしい手」という言葉がいまでも心に残っています。仕事が多忙に忙しくてもご利用者の訴えや思いに、その都度足を止めてきちんと聞いて気づける介護士になりたいと思います。

## 子育て支援

### 職場全体の応援で 育児と仕事の両立へ。



静苑ホーム  
介護士 橋本 抄苗 さん

私は静苑ホームで9年目となり、現在、子育てをしながら務めています。静苑ホームでは、育児休暇や産休を使って育児と仕事を両立させている先輩がたくさんいます。そのため育児休暇や産休を取ることが、普通にできるようになっていて、私も仕事を辞めずに子どもを産むことができました。小さな子どもは、すぐ風邪を引いたりしてしまい、その度に仕事を休まなくてはならないこともあって、みんなに迷惑をかけてしまっていると、申し訳ない気持ちで一杯になります。でも、仕事に戻るとみんなが「大丈夫だった？」とあたたかく迎えてくれ、職場全体で子育てを応援してくれる雰囲気があり、本当に励まされました。また、子どもが小学校入学までは夜勤業務や遅番・早出も免除され、時短勤務で保育園の送り迎えができるのもとても助かっています。

## 資格取得の奨励

- 資格取得を目的とした通信教育費用の助成
- 資格取得お祝い金の支給
- 資格手当の支給

● 平成23年度研修参加実績  
…………… 194回(延263日)

## 資格取得の状況(平成24年4月現在)

- (臨時職員を除く全介護職員が介護福祉士を取得)
- 介護福祉士 …………… 148名
  - 社会福祉士 …………… 24名
  - 精神保健福祉士 …………… 6名
  - 介護支援専門員 …………… 57名
  - 主任介護支援専門員 …………… 12名
  - 認知症介護研修(実践者) …… 20名
  - 認知症介護研修(リーダー) …… 9名
  - ホームヘルパー2級以上 …… 62名

# スタッフ エッセイ

愛保育園で給食の先生をしています。  
昨年、縁あって結婚をしました。私の夫は食べ物好き嫌いがとても多く、日々の業務が家庭でも役立っていて、栄養士でよかったです。

今回は、家庭でのごはん作りが職場で生かせるよう意識していきたいです。家庭でも職場でもごはん作りに奮闘している高橋でした。



愛保育園 高橋 尚子

平成24年6月に友愛ナーシングホームから異動となりました。ケアマネジャーという仕事に就いてから6年半になりますが、この6年半で10キロくらい太り、7歳と5歳になる子どもと一緒に走ると膝が痛くなるという「ダメなお父さん」の典型になりつつあります。

皆さんに「運動しましょうね」と言っても心苦しくならないようにダイエットを始めようと思います。これからも宜しくお願いします。



野幌第一地域包括支援センター 小林 洋貴

先日、念願が叶って一眼レフカメラを購入しました。休日には気の向くままに車を走らせ、刺激を感じた場所でその瞬間の風景をカメラとまぶたに取めています。構図を決める時の瞬間的に集中力を高める動作は介護にも通ずる所があるので、趣味の活動を継続しながら業務につながる力を養っていきたいです。



静苑ホーム 三澤 一恵

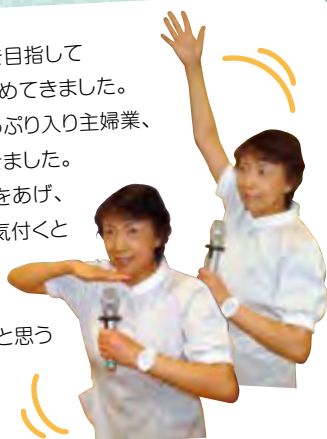
私の楽しみは、仲の良い女子4人組で一年に数回一泊旅行に出掛けることです。つい最近も小樽に一泊してきました。夕食はビール片手に好物のおでんをたくさん食べ、ホテルに帰っては夜鳴きそばをいただき、「お腹いっぱい」で大満足!次の日は何十年振りかの小樽水族館へ。イルカショーで大笑いし、雪の中を歩くペンギンの姿を見て「かわいい〜」と叫び、楽しい二日間を過ごして心も体もリフレッシュして来ました!!(#^.^#)

『冬の水族館』は夏とはまた違った趣があって、おススメですよ!



ケアハウスゆうあい 住吉 秀子

「唄って踊ってモノマネする看護師」を目指して十数年、「職場に笑い」をモットーに務めてきました。以前の職場を寿退職後は、家庭にどっぷり入り主婦業、子育て、ママさんバレーに奮闘してきました。しかし、これではいけない!と重い腰をあげ、恵明園に勤め始めたのですが、ふと気付くと年齢だけがベテランの域に達していました。今は時間に余裕がありませんが、また大好きな「旅」に出たいと思う今日この頃です。



恵明園 村越 康子

9月より友愛ナーシングホームにてケアマネジャーとして勤務しています。札幌出身で、この春に江別市に引っ越してきました。アウトドアとスポーツが大好きで、小学生からずっと社会人になってからもバスケットボールを続けています。夏は海にキャンプにと大忙し。今年の夏は大雨の中キャンプを決行したほど大好きです!趣味のマリンジェットで海や湖へもよく出掛けます。只今、2歳の息子の子育てに日々奮闘中にて趣味もお休みがち。運動と言えば除雪程度で、春が待ち遠しいです。また夏がきたら家族や友人と海やキャンプへ張りきって繰り出したいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

友愛ナーシングホーム 村瀬 香奈



社会福祉法人  
**北海道友愛福祉会**  
<http://www.yuaifukushi.jp>

介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム  
短期入所生活介護  
**静苑ホーム**

〒069-0806 江別市新栄台46番地の10  
TEL (011) 389-4165 FAX (011) 389-4166

**友愛野幌**

TEL (011) 391-3540 FAX (011) 389-4170

●通所介護

●訪問介護

●居宅介護支援・在宅介護支援センター

児童福祉施設  
**愛保育園**

〒069-0812 江別市幸町8番地の9  
TEL (011) 384-0330 FAX (011) 382-6587

江別盲人養護老人ホーム・短期入所生活介護  
ヘルパーステーション

**恵明園**

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8  
TEL (011) 383-3351 FAX (011) 383-3598

**友愛江別**

TEL (011) 383-3362 FAX (011) 383-3598

●通所介護

●居宅介護支援・在宅介護支援センター

軽費老人ホーム

**ケアハウスゆうあい**

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12  
TEL (011) 382-1123 FAX (011) 382-1022

介護老人保健施設・短期入所療養介護  
通所リハビリテーション・居宅介護支援  
**友愛ナーシングホーム**

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12  
TEL (011) 382-1110 FAX (011) 382-1022

江別市受託事業

**野幌第一地域包括支援センター**

〒069-0801 江別市中央町31番地の6  
TEL (011) 381-2940 FAX (011) 381-2941

●介護予防支援